

龍拔兒德街論

第十編

大藏省
翻譯課



414
A1127
12



龍坂見徳街論と十編

三三銀行論

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

余謂ラク前編ヲ續ム者ノ中或ハ余ヲ目シテ安シゾ合本銀行ノ
 意密ナク或マニアラガルヲ得ンヤト云フモノアラント如何セ
 シ余一唯合本銀行ニ取リ重大ナル缺点ト思考スルモノヲ稍々
 擧テ以テ之ヲ指示シタルノミ決シテ他意アルニアラサルナリ
 然ルニ此編ヲ讀ム者モ亦右ノ如ク余ヲ以テ私立銀行ノ敵手ナ
 リト迷了センコトヲ恐ル是ヲ以テ余ガ只管ニ希望スル所ノ者ハ
 他ナレ讀者ガ余ノ論刺スル所ノ二者ヲ合併熟考シ以テ余ノ思
 意ノ決シテ不公平ニ出ワルニアラガルヲ了解スルニ至ランコ
 ト欲スルナリ

余ハ推理ニ於テハ勿論而モ実験上ニ於テモ亦私立銀行ノ最
 初ニ於テルルヲ如ク十分ノ成知ヲ遂ケ得タルモハ又他ニイラ

ガレゴト想像スルナリ夫レ家富ミ且ツ実着シテ才能ヲ兼
ナルヲ聞アル者其近隣ノ人々ヨリ財資ヲ委託セラレ、ヲ
常下ス是ヲ以テ凡ソ信憑ナルモノハ専ラ人物ノ如何ニ依テ生
スルヲ知ルヘシ且夫レ近隣ノ人々カ此ル富裕家ヲ信シテ始
メテ各自ノ財資ヲ預托セントノ心ヲ起スハ素ト其富裕ニシテ
実着ナルヲ知レハナリ又近隣ニ住ム所ノ人々ハ日々具者経
營ノ有様ヲ目撃シ信憑ヲ置クニ足ルヤ否ヤヲ判定スルヲ得
レバナリ往時ニ在リテハ僻地村落ニ住ム者誰人ノ論ナク其久
シク住居セシ所ノ地ニ於テ産ヲ破ラント欲スト虫能ハルリ
シ然ル所以者ハ自己ノ資財ヲ費耗スルモ多クハ其住馴レシ
所ニ於テ之ヲ費耗シ又若シ投機ノ業ヲ試ミント欲スルモ必ス
此ノ所ニ行ヒタルニ因リ此所ニ居住セル人々モ亦直チ
ニ某者が衆ノ信憑ヲ破フルガ如キ所業アリヤ否ヤヲ知覺ス

ルヲ得タルヲ故ナリ況ヤ往時ニ在リテハ大都府ニ於テカヘ
モ獨リニ足ルヤ否ヤヲ認定スルニ必要ナル事情ヲ詳ラカニ探究
シ得ガレ者ハラガリシナリ是ニ由テ之ヲ觀ルニ私立銀行者
カ頗ル権勢ヲ得タリシモノハ全ク数十年ノ久シキガ間斷ナ
ク嚴密ナル注視ヲ遂ケテ能ク其功ヲ奏スルヲ得タルニ由ル
ナリ
倫敦銀行者ナル名称ハ特トニ人ノ尊重シ羨慕スル所ナリ蓋
シ倫敦銀行者ハ財資融通ノ鋭敏ト且ツ自他ノ社會ニ於テハ決
シテ觀ルルヲ得サリシ教育上ノ徳化トヲ兼備スルモノト想像
セテレタリキ當ニ想像セラレタルノミナラス實際上屢々然リ
シナリ注視自人社會ノ風俗ヲ日ニ比スレハ甚ダ粗糲ナリシハ
日ニ於テモ獨リ私立銀行者社會ノ中過半ハ皆ナ博識ニシテ才

學ニ富ニ加フルニ現今ニ於テ稀レニ見ル所ノ優厚ナル富産
ヲ所有シキ而カモ斯ニ銀行者ノ地位ノ如キハ其便益實ニ
比類ナキモノナリト謂フベシ何トナレハ其營業ハ代々世襲
ニシテ其銀行ノ信憑ハ綿々父ヨリ子ニ傳フレハナリ況ヤ斯ル
富財ヲ世襲スルハ又嗣子ナルモノ徳化ヲ教育上ニ世襲スル
ク現アルオヤ然リ而モ凡ソ銀行ノ業タル素トヨリ細心注意ヲ
要スレモノナリト並ニ決シテ辛勞ヲ要スルノ高業ニアラス故
ニ銀行者タルモノハ其業及令ニ廣大ナルモ其ノ經營スル所ノ
事務ノ極メテ確實安全ナルヲ自カラ保認スルナラン又其真此
業ニ干預スレモ高ホ十分ノ餘カヲ有スベシ故ニ銀行者ハ其ノ
業ノ時間ト其ノ餘カトヲ以テ容易ク他業ヲ兼テ之レニ從事
スレ得ル又倫敦銀行者ニシテ若シ字内ニ於テ最モ才智
學力アル仲間ニ交ハラント欲セハ則チ之ニ資アルヲ得ベシ

蓋シ倫敦私立銀行者ノ如キ幸福ナル地位ヲ占ムルモノハ當ニ
既ニ稀ニシテ世ニ是ガ稀有ノモノナリレノミナラス又恐ラク
將來ニ於テモ決シテ之ヨリ幸福ナルモノハ無カル可シ
倫敦私立銀行ノ地位タルヤ夫レ斯ノ如ク世ニ比類アルヲ稀レ
ナリ然ルニ今ヤ其永續如何ニ就テ頗ル疑フヘキモノアルハ實
ニ悲歎ニ堪ヘスト並ニ又恨ムラクハ之ヲ疑ハガルヲ得ガルヲ
如何ニシヤ看ヨ私立銀行ノ數ハ現今ニ至テ漸ク大ニ減シ一千
八百十年ニハ龍拔見徳街ニ於テ交換所ニ入ルヲ許容サレタ
ル私立銀行ノ數四十個アリレガ現今ニ至テハ其存スルモノ僅
カ十三個ニ過ギガルヲ又看ヨ銀行ノ事務ハ一千八百十年以來
益々増加シ愈々繁盛ナルニ至リシト並ニ私立銀行ノ類屬ニ至
リテ之ノ一千八百十年頃ニ比スレバ却テ大ニ其數ヲ減シタ
ルヲ是レ豈其類屬將ニ灭绝セトスルノ証徴ニアラサル得

シ乎然リ而ノ其証徴ハ獨リ此ニ止マラス又新ニ此業ヲ創シス
ル者ナキニ元來私銀行ノ事務困難ナルヲ以テ人之ク新設
ヲ避クルニハアラズト雖モ新私銀行ノ業ヲ創起スル能ハ
ズトハ衆人ノ許ス所ニシテ余ハ余ガ知ル所ニ於レバ數年ノ間
倫敦若シクハ他ノ地方ニ於テ私立銀行ノ新設アリレバ聞カガ
ルリ我輩ハ只旧設ノモノ、漸次ニ跡ヲ滅失シテ以テ其數ノ
減少ニハ知レモ未ダ曾テ新設ノ興立シテ數ヲ増加セシムル
アルヲ知ラザルナリ
儲新ニ私立銀行創立ノ企ヲ起スモノ無キニ至リシハ抑モ故ア
智キニハ一二ノ便益アリテ大ニ私立銀行ノ開設ヲ勸奨シタ
レト雖モ現今ニ至テハ其便益殆ド地ヲ掃フテ消滅シタリ何
トナシ今日ニ在リテハ社會ノ組織日ノ如ク單簡ナラス又
商賣ノ區域漸ク廣クシテ且ツ繁盛ナルヲ以テ近隣ノ人ト雖モ

相互ノ富実如何ヲ認定スルヲ能ハザルニ至リタレバナリ素ヨ
リ英國内ニハ豪富ヲ以テ世ニ知ラレ公衆ノ洽ク許シテ疑ハガ
ル者、大家ナキニアラズ然レモ是等ノ豪富家ハ私立銀行ノ
業ヲ營ミ宏大無量ノ債ヲ負フモノニアラザルナリ若シ此輩ニ
レテ該業ヲ世襲スルモノタラレバ或ハ之ヲ維持ス可シト雖
モ此輩ハ決シテ自カラ求メテ新ニ此業ヲ創起セザルベシ又豪
産アル者ト雖モ若シ新ニ此業ヲ開設スルヲアラハ世人ハ必ズ
伺テ故ニ何某ハ銀行ノ營業ヲ始メタルヤ彼レ恐ラクハ吾輩ノ
想像スルガ如キ程ノ富者ニハアラザルベシトノ説ヲ為スニ至
ルベシ何トナレバ責任ヲ避ケントスルハ豪富家ノ常情ナルニ
素ハ大銀行ノ業ハ大責任ノ負擔ヲ免レザルモノナレバナリ尤
モ吾輩ガ如クコトシテリシ世ニ比類稀レナル富者ヲ以テ
リ故ニ富者ノ伯ト云フ義カト知レテ第一等ニ位スル所ノ富家

現今是々夥し而メ此輩ハ孰モ皆ナ其力能ク私立銀行ノ業ヲ遂クシテ得ルハ何時モ之ヲ開業シ其利益ヲ以テ自家ノ爲ニ加ヘント欲スルナリ然レド此輩ハ不幸ニシテ私立銀行者トナリテ其營業ヲ遂クルコトヲ得ヌ何トナレバ此輩ノ富カハ未タ世人ヲシテ普ク其豪富ナルヲ知ラシムルニ足ラズ隨テ銀行業ノ爲メニ最モ必要ナル世人ノ信憑ヲ得ルコト能ハザル可故ニ是ニ因テ之ヲ視ルニ第一等ニ位スル富家ハ敢テ私立銀行者トランコトヲ求メズ而メ第二等ノモノハ之ヲ求ムルモ其力及バ不英國ニ於テ新クニ私立銀行ノ創立ナキ又理由ナキニテラザルナリ

之ノミナラス現今ニ至テハ私立銀行ハ其創立ノ初メニ於テハ競争スルコトヲ須ヒザリテ所ノモノニ對シテ競争セザルヲ得ザルノ場合ニ至レリ是レ他ナシ余カ前ニ論ヒシ如ク時勢ノ變

遷ニ因リ合衆銀行ノ勢漸ク盛大ヲナシテ私立銀行ト競争ヲ始ムルニ至リテリ蓋シ往昔ニ在テハ合衆銀行ハ私立銀行ニ向ヒシテ競争ヲ逞フスルコト能ハザリシ當時英國銀行ハ獨リ會社主義ノ銀行營業ヲ專ラシタリ然リト重氏現今ニ至リテハ預金ヲ主者トシテ大ナル合衆銀行ノ龍坂兜徳街ニ於テ其業ヲ營ムモノ一ニシテ足ラス而メ是等ノ合衆銀行ハ皆ナ既ニ拂込ミタル巨額ノ資本ヲ有シ又極メテ明瞭ナル損益ノ勘定ヲ常時不新ニ公布スルナリ而カモ此損益勘定ノ纖悉明細ナルヲ視ルニ過ク私立銀行者カ各自ノ資産ヲ運用スルニ方テ企テ及フ所ニテラザルヲ知ルナリ然リ而メ合衆銀行ハ其資本ト云ヒ報告ト云ヒ言憑ヲ世ニ博スルノ手段トシテ益々進歩シタルニ從ヒ私立銀行ハ新設ハ尙ハ妨ヒテ被ムレリ

又私立銀行ニ於テ現当取扱フ所ノ營業高ハ幾許ナルヤ全ク之

ヲ知得ルヲ能ハス且ツ其損益計算ハ極メテ秘密ニ隱蔽
ル、故、之ヲ窺ハルニ由リ然リト雖モ最大ナルモ、向
三、除クノ外ハ一モ營業ノ益、盛大ニ赴クモノアリトモ信
ラレガハナリ古ノ如ク説クハ或ハ格別ノ事件ニ就テハ惡
評ヲ免カレザルベシト雖モ大体ニ就テ論スルハ殆ント正皓
評ルモノト謂フテ可ナルベシ何トナレハ(一)二例外ノモノ無
キニシテモアラガレ(二)倫敦ニ於ケル私立銀行ノ預金ノ大概皆ナ
漸、減少ニ赴ムクハ世人ノ熟知スル所ナルカ故ナリ
然リ而シテ自他ノ割合ニ較フレハ營業資本ノ小額ナル小銀行ノ
如キハ勢自ラカラ然ラガハ得ザルナリ夫レ大ナル銀行ハ常
益、宏大ト為リ小ナル銀行ハ常ニ益、弱小ト為ルハ自然ノ
教、之何トナレハ衆人ノ常情トシテ自己ノ財資ヲ取扱ハシム
ル所ノ銀行者撰バニ方リテハ則チ當時最モ世上ニ信憑ヲ得

タル者ヲ撰ニ可レ而シテ世上ニ信憑ヲ得ルノ爲キモノハ手元ニ
巨額ノ財資ヲ保有スル者ナルベケレバナリ右ハ即チ久シク營
業シ來レル富裕ナル銀行ハ一ノ特占便益ヲ有スルト云フ所以
ニシテ則チ其業ヲ經營スルニ際シテハ自他ノ銀行ニ比スレハ
一層良好ノ地位ニ居ルナリ故ニ旧來ノ爭競者ニ對シテハ大ニ
之ニ超乘シタル便益ヲ占メ新設ノ者ニ對シテハ之ヲ壓倒スル
ノ勢力ヲ有スルモノトス者ルベシ始メテ龍按見徳街ニ來ル者
ニハ先ツ諸銀行ノ成績如何ニ眼目ヲ注キ然ル後信憑ノ最モ
集マル所ノ一大銀行ヲ撰テ自己ノ財資ヲ委託スベキヲ是ニ由
テ余ハ熟ラ小私立銀行ノ將來ヲ觀察シ永ク其地位ヲ維持スル
ヲ能ハカルヲ洞知スルナリ蓋シ是等小銀行同業仲間ハ遂ニ悉
ク跡ヲハルベシ素意意外ノ破産或ハ不時ノ瓦解ニ及
ガリ無カルベケレト漸々ト其微ニ赴キ是等銀行ノ事務ハ悉

皆他之に向テ去ルベキナリ

目一、形、以テ觀、モ、理上ニ就テ察スルモ龍坂見徳街ノ

事務、早晚諸合本銀行ト其他一、私立大銀行トノ間ニ分掌ス

ル所トナランハ瞭々トシテ明ラカナリ然リ而モ爰ニ又是等ノ

大私立銀行ハ果シテ永續スルコトヲ得ヘキヤ否ヤノ疑問ヲ起サ

ズレテ得ス而モ余ハ之ヲ明言スルニ忍ビサレヒ是等銀行ヲ決

シテ永續スルコト能ハザル可キヲ如何セン乎然リト雖モ余ハ又

是等銀行ノ遭遇セザルヲ得ザル所ノ重大ノ困難事ヲ無言ニ付

スベシカニサレナリ

夫レ何事ニ論ナリ世襲ノ大事業ニシテ之ヲ維持スルノ危険ナ

カハ非、勉強ト非常ノ才量トヲ兼備スルノ人ヲ以テセザル

ベカラズ然レモ此ノ如キ非常ノ人才ノ決シテ代々出ツルモノ

ニアラズ、蓋シテ誤タスレテ明ラカナリ彼ノオトベレント、

レ、會社當派、如キハ管理其宜シキヲ失フヨリ生ジタルモ

ニシテ實ニ世襲ノ弊害ノ最モ警戒スベキ殷鑑ト為スニ足ル

ベシ凡ソ其ノ如キ會社ニ於テハ其發起人及ビ最初ノ管理人等

ニ優レ、其ノ人才(余ノ爰ニ人才ト云ヘルハ能ク一事業ノ目的ヲ

達スルノ才量ヲ備ヘタル者ヲ指シテ云フノミ)ヲ子々孫々ニ得

ントスルモ多分能ハザルヲ常トシ却テ其創業ヨリ未ダ幾モ

ナシテ斯ル會社ノ管理至愚至痴ノ子孫ニ傳ヘラル、下注

々之アリ果シテ然ラハ斯ル會社ノ繁栄ヲ永久ニ維持スルノ甚

ク困難ナルノミナラス之ヲシテ継襲ノ日ヨリ未ダ数年ナラガ

ルニ疲産セシムルコトアルハ甚ク怪シムニ足ラザルナリ尤モ斯

クハ、一、朝ニ步、カ、至愚至痴ノ管理者ハ幸ニシテ甚

ク稀ナリ而カモ銀行ノ事務、引會社ノ事務ノ困難ナ

ク

ク

のキアラガルナリ再カ云フ至是は尚ホ斯ル世襲會社ノ日統
人又愚知ニシテ能者タルハ世間一般ノ常トスル所ニシ
テ且大銀行ノ事務ヲ管理スルハ大才カヲ要スルノミ
ナラス亦老練沈着ノ決断カヲ魚子備ヘガルベカラス諺ニ云ヘ
ル「アリ青木ニ登セシ奇事」乾木ニモ亦登スル「アリト私立
大銀行ノ如キモ老練ノ有力者之カ管理ヲ為スハ繁榮素ヨリ
期スレト至愚ノ無力者之ニ代ハル時ハ甚タ滅絶シ
易キモノナリ

我輩カ育ニシテ未タ倫敦ニ於テ此ノ如キ類例アルヲ見ガハモ
ノハ蓋シ今日ニテハ未ダ之ヲ生出スベキ機會ナカリシニ由テ
然ルノミ何トナレハ今日ニテハ私立銀行之ヲ銀行タルノ地
位ニシテ甚タ微小ニシテ後之ヲ管理スルニモ唯適
應ノ才方トシテ注意トノミヲ以テ足レリトシタレハナリ然リ

ト至是方我輩銀行ノ事務益々擴張シテ之ヲ管理スルニ更ニ
幾層ノ才力ヲ要スルニ至ラハ始メテ世襲制度ノ弊害アルヲ知
識スルニ至ルベシ「父ハ英才ニシテ事業ヲ創立シタレハ子ハ鈍
愚ニシテ之ヲ承テハ」トハ是レ諸大君主國ノ歴史中ニ在ル所
ノ語ニシテ余余以テ之ヲ大私立銀行ノ歴史中ニ加フルニ敢
テ不可ナルヲナカルベシ彼ノオランダ「ガル子」會社傾覆ノ
原ハ精々其弊害ノ速マカニ發見セラレタル一事ニ在リ即チ組
合中則ノ中最も富裕ナルモノ該會社ノ管理上ニ責任ヲ有レシ
カラ注意ヲ用ユルヲ至テ薄ク而メ不測ノ損耗ノ各自ニ及ビ未
ル「チ」發見セシヤ忽チ此輩ハ其責任ヲ解テ之ヲ會社ニ改メタ
リ否レ此際此輩ニシテ以後ニ細心ヲ加ヘテ其上ノ損耗ヲ豫防
スルノミ止マリタラハ「該社」ハ無論依然トシテ永久ニ其
營業ヲ維持シ現今ニ至テハ他レ比ヒナキ信憑ヲ世ニ得タリ

以テ永久管理其宜シキヲ得ルノ困難ナルハ私立銀行及
引テ社務ヲ最モ甚シクハ何トナレバ其内幕秘密ナルヲ取
テ之ヲ管理スルニハ最モ老練熟達ノ人ヲ要スレバナリ
素ヨリ此危難ノ如キハ其任ニ堪ユベキ才カヲ備ヘタル新社員
ヲレテ断ヘズ交入セシムル所ハ之ヲ除却スルヲ得ガルニアラ
ズヤ旧社員ノ足ラガル所ハ新社員ノ卓越ナル才カヲ以テ之
ヲ補償スルヲ得ベシ然リト垂涎愛ニ又一ノ故障アリテ其趣意
タル格別緊要トスルニ足ラガルガ如シト雖モ實際ニ於テハ頭
力ノ關係ヲ有スルナリ即チ新社員ノ加入ヲ許スルハ新社
員ハ旧社員ノ收入中ニ就キ巨額ノ配当ヲ要求スベシ而シテ之
カハ旧社員ハ新社員ガ收取スル所ノ若干ヲ失ナハガルベ
シカハ旧社員ハ必ズ之ヲ好マガルベシ夫レ然リ此實
效アリシハ既ニ斯ノ如キ故障アル所レハ之カ実行ノ

必ズ甚ク新チニラルベキ掛慮アルヲ如何セシヤ
是故ニホシテ私立銀行仕組ノ果シテ永続セシメテ期スル能
ハ知心スヤ小私立銀行ノ命脈ハ数年ヲ経ガル間ニ滅絶ニ帰
而シテ大私立銀行ノ困難ハ極メテ益々重大ナルベキニ決シテ疑
ハズシテ左ノ大私立銀行ハ愈々其管理ニ注意ヲ尽スル最モ
緊要ナリトス然リ而シテ今日銀行業ノ注目ニ比シテ特ニ困難錯
雜トナリシ所以ノモノハ營業事務ノ細件駁々乎トシテ次第ニ
増加スルカ故ナリ則チ振出切手ノ數ハ年々進テ増加シ又日常
出納ノ事務ノ如キモ之ヲ前時ニ比スレハ大ニ繁忙ヲ加ヒタレ
之ニ屬スル枝葉ノ事務随テ増加シタリ加之ノミナラズ近來
ニ至リテハ銀行者ガ取扱フベキ事務ニ新項ヲ加ヘタレバ今日
ノ銀行者ハ帝ニ人民ノ利益ヲ保護スルニ止マル而已ナラズ
且チ高メニ其所得ヲ集收スルハ役目ヲ勤メガルベカラズ蓋シ

餘中... 丁ヲ得ルノ幸福ヲ懐キナガラホテ不安不快ノ
細夫トナク十分ノ注意ヲ尽シテ辦理セザル可カラザル勿論ナ
レバ持ニ一人ヲ選ンテ之ヲ看守統轄セシメザルヲ得ズ然ラス
レハ豈能ク營業ノ完キヲ得ンヤ夫レ銀行事業ノ斯ノ如ク困
難ナルヲハ現今若シクハ近來ニ至ルマデ未ダ充分ニ人ノ感覺
ル所アラザリキ而シテ小私立銀行ノ事務ノ如キハ其組合仲間
相集リテ之ヲ監督スルモ稍々以テ足レリトセリ然レモ已ニ論
テ増加スレバ勢ナリ然ハ則チ私立銀行ニシテ未ダ尽ク廢滅セ
ル以上ハ私立銀行ノ事務ト雖モ何ノ共ニ増加セザルノ理ア
ラ不判
整理スルニ備フルト目下緊急ナル所以ナリ若

レ夫レ... 益、繁榮ニ赴キ隨テ事務ノ細計モ亦銀行ノ大
小ニ... スルトセシニ相当ノ注意ヲ為サズ恬トシテ顧
ミサルハ、恐怖スベキ災害ヲ遠カラザルニ來タスハ方サニ言
ヲ跋タザル可シ
三
實ニ今私銀行ノ事務ヲ整理スルヲ得テ必然實效ヲ奏ス
ベシト考定スル所ノ唯一ノ私立銀行組成ハ對敵主義ニテ成立
セル制度ヲ設クルニ在ルナリ乃チ大私立銀行ハ(余ノ信スル所
同レバ)或ル式方ヲ以テ且ツ或ル名稱ヲ與ヘ銀行ノ事務ヲ監
視シ施行シ整理スル總管理者ノ如キ者ヲ置クベシ素ヨリ私立
銀行ノ制度ノ恙ク一定ナランヲ要スルニハアラス各銀行ハ
其事務ヲ管理スルニ就テ各自一個ノ慣法ヲ以テスルモ敢テ不
可
然リ而シテ組合仲間ノ取扱フベキ本務ハ恰モ各本銀行ノ

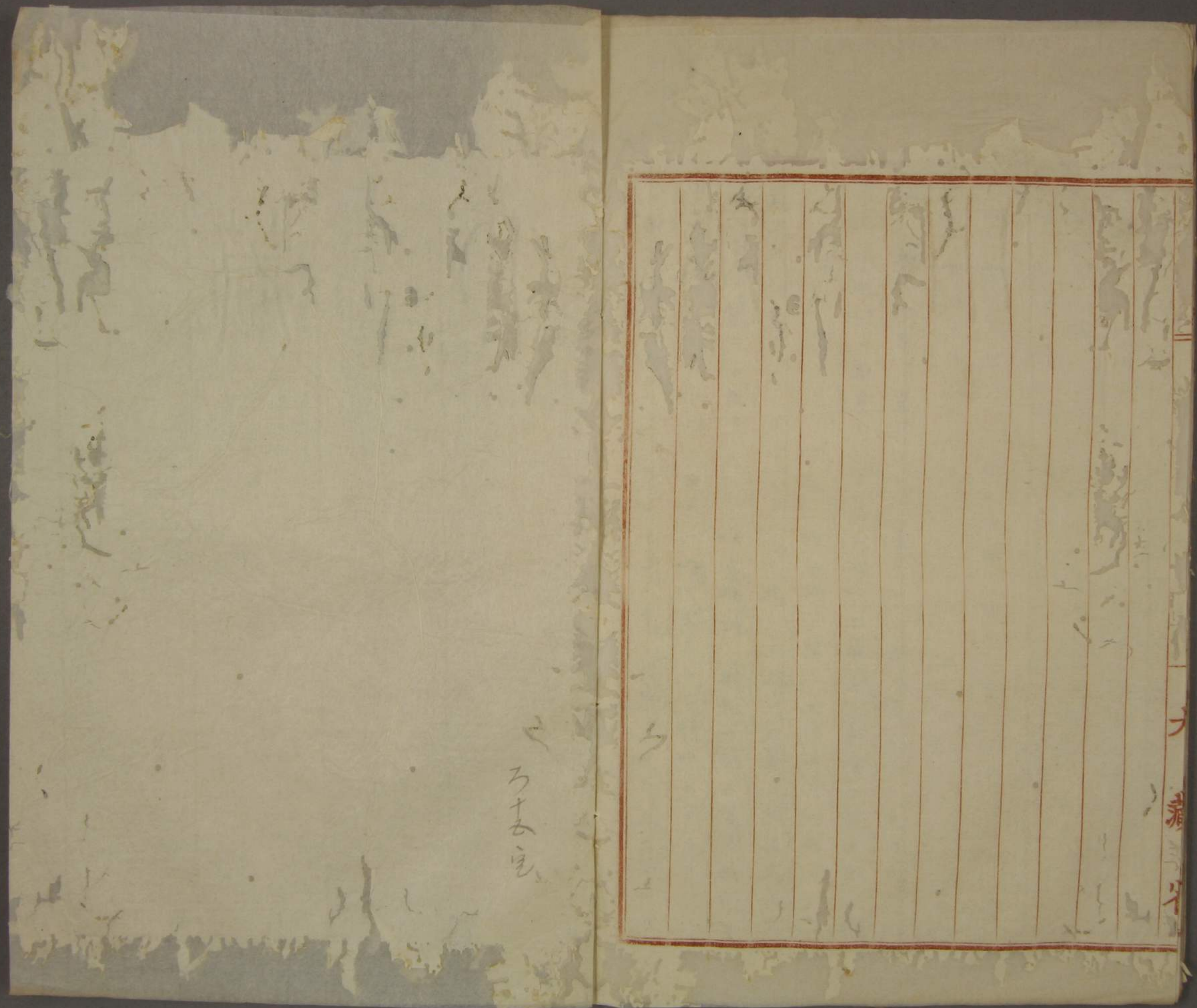
私... 監督... 所ノモノト同一ナレバ組合仲間ハ乃チ永
勤... 員ノ... キ之ヲシテ... 高議シ又總管理者ノ処置
注視シ又巨額ノ貸借取引其他主要ノ條件ヲ監督セシメ決シテ
自カラ其責ニ任スベカラス若シ自カラ其責ニ任スルハ忽チ
二個ノ弊害ヲ生スベシ即チ事務ノ整理其眞トヲ得サルハ又
重害ノ事件ヲ決定セザルベカラザル人々ノ心一ナラザルヨリ
竟ニ議ハスレテ始終同着ノ絶間ナカルベシ而シテ内ニ同着ノ
患憂ヲ免カレザルハ外貸金ヲ必スルノ法宜シキヲ得スレテ
... 債失ヲ召クニ至ルベシ

以上ニ開示スル所ノ私立銀行組成ヲ以テスルハ當ニ目下事
務ノ整理ヲ全フスルヲ得ルノ利益アルノミナラズ若シ又他
日私... 行メテ合本銀行ニ轉スルヲ必要トスルノ場合ア
ルニ下レシモ... 行フテ極メラ容易ナリ又時宜ニヨリ事情已ム

十

ヲ得... 甲ノ業ヨリ乙ノ業ニ移轉スルヲ得ザル
ニ... 此件ノ如キハ此ニ論スルノ限内ニアラザレハ
... 贊セス畢竟スルニ私立銀行ノ組成ハ恰モ合本銀行ノ
組成ト同一ナルベキモノニシテ且ツ人民ハ唯常ニ其確實善良
ナシテ... 然ルニ其組成完全ナラザルハ為メニ先
ツ一二銀行ノ破産ヲ招キ而シテ此一二銀行ノ傾倒ハ忽チ是ニ銀
而一般ノ恐慌ヲ惹起スルニ至ルベシ恐レズン... アラザルナリ

歳



之
乃十五日

六
藏
平

